

I 感染症対策の環境整備

避難所では、衛生状態が悪化し、感染症がまん延しやすい状況になります。チェックリスト（別添1）を参考に必要物品を揃え、感染症予防のポスターや手指衛生、咳エチケット等のポスター（参考資料）を多くの人の目に入る場所（入口、掲示板など）や、伝播リスクの高い場所（トイレや手洗い場など）に掲示しましょう。また、アルコール手指消毒薬を入口やトイレなどに複数設置するなど、環境の整備を行きましょう。

1 必要物品の整備

- 手洗い用石鹸（液体が望ましい）
- アルコール手指消毒薬
- マスク
- 体温計
- 吐物処理セット・処理手順説明書
（マスク・エプロン・手袋・新聞紙・ごみ袋・次亜塩素酸ナトリウム
・ペーパータオル・バケツ）
- ペーパータオル
- ウェットティッシュ
- 次亜塩素酸ナトリウム



2 手指衛生

- 感染症予防の基本は **手洗い** です!
- 避難所のすべての職員、ボランティア、避難者に対してこまめな手洗いの励行を定期的に啓発しましょう。

手洗いのタイミング → 食事の準備や食事の前、トイレの後、外出から帰った時

- 流水と石けんを用いた手洗いを励行しましょう。
- タオルの共用はせず、個人用タオルかペーパータオルを使用しましょう。
- 手洗い後にアルコール手指消毒薬を使うとより効果的です。



《断水により水道水が使えない時》

- ウェットティッシュで汚れを拭き、アルコール手指消毒薬を使用しましょう。
- 手洗い用の水を確保できるよう、市町村の対策本部に働きかけることも必要です。

3 居住区域の環境整備

- 室内は定期的に清掃と換気（午前・午後各 1 回位）を行いましょう。
- 個人間（もしくは少なくとも家族間）の距離を 1～2m 空けることが望ましいです。
- インフルエンザや嘔吐下痢症患者が発生した場合に、個別に収容する場所を確保しましょう。
- 避難所は土足厳禁にしましょう。
- トイレは定期的に清掃と消毒を行いましょう。清掃する際は、マスクと使い捨て手袋、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウム（家庭用塩素系漂白剤など）を用いて、便器周りを中心に清掃しましょう。
- 紙オムツ等の廃棄のため、蓋付きの専用ゴミ箱を設置しましょう。

トイレの清掃方法

用意する物

ゴム手袋（使い捨て）・マスク（使い捨て）・ビニールエプロン（使い捨て）・バケツ・消毒薬・トイレタワシ・雑巾・ほうき・ちりとり・ビニール袋等

手順

- ① マスク・ビニールエプロン・ゴム手袋を着用する。
- ② トイレのドアを開け、風通しをよくする。
- ③ ほうきで床をはく。
- ④ 汚物の入ったゴミ袋を交換する。
- ⑤ バケツに次亜塩素酸ナトリウム希釈液を用意する。
（バケツの水 1 杯（約 5 ℓ）にキャップ 4 杯位（約 20 c c））
- ⑥ ドアノブ、手すり、水洗レバー、タンク、フタ、便座、便器の外側、床等の順で、消毒液を薄めた布等をひたし、しっかりしぼってから拭く。
- ⑦ 便器の内側は消毒液をかけ、2～3 分後にこすらずに水で流す。
（汚れには飛散しないよう注意しながらトイレタワシ等を用いる）
- ⑧ 手袋を外し、手洗いをする。



（参考）東北大学大学院医学系研究科 感染制御・検査診断学分野、臨床微生物解析治療学、感染症診療地域連携講座、東北感染制御ネットワーク